

---

---

# エレクトーン演奏グレード10～6級 受験要項

2025年11月改訂版

Ver.VI

---

# もくじ

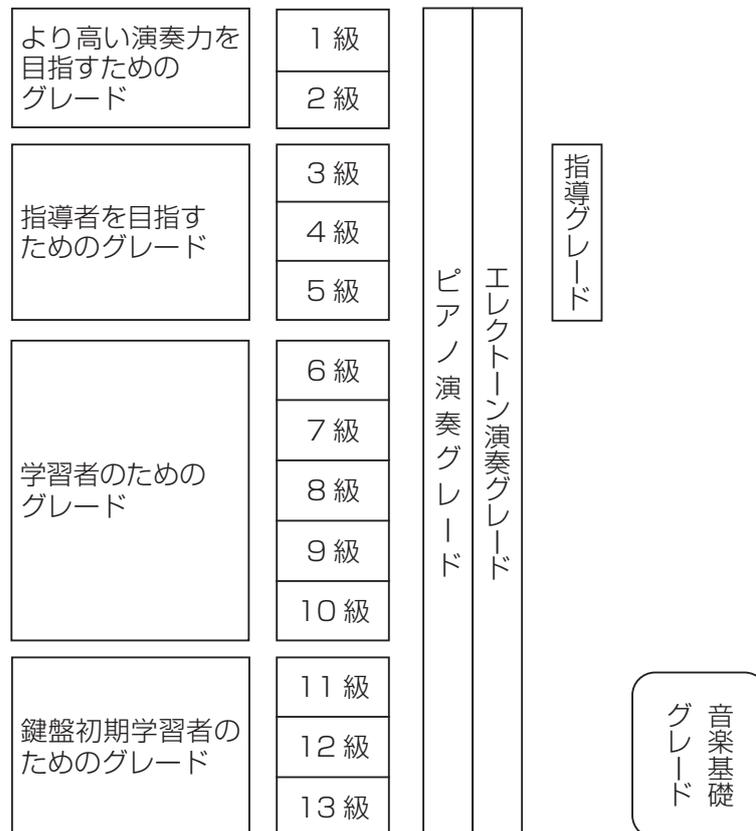
本ページの各項目名をクリックすると  
PDFの該当するページへ移動します。

I	<u>ヤマハ音楽能力検定制度（ヤマハグレード）の概要</u> .....	2
II	<u>試験要項</u> .....	3
III	<u>試験の概要・試験の流れ</u> .....	4
	A コース .....	4
	B コース .....	6
IV	<u>試験内容</u> .....	10
	<u>自由曲・課題曲</u> .....	10
	1. <u>規定曲数</u> 2. <u>選曲について</u> .....	10
	3. <u>受験する際の留意点</u> .....	11
	4. <u>Aコース課題曲 曲集（曲目）リスト</u> .....	12
	<u>編曲演奏（Aコースのみ）</u> .....	16
	(10・9級) <u>試験実施方法、課題例、実施例、演奏例、編曲演奏課題</u> .....	16
	(8・7級) <u>試験実施方法、課題例、実施例、演奏例、編曲演奏課題</u> .....	22
	(6級) <u>試験実施方法、課題例、実施例、編曲演奏課題</u> .....	31
	<u>初見演奏（Bコースのみ）</u> .....	39
	<u>試験実施方法・各級における出題範囲</u> .....	39
	(10級) <u>課題例</u> .....	39
	(9級) <u>課題例</u> .....	40
	(8級) <u>課題例</u> .....	41
	(7級) <u>課題例</u> .....	42
	(6級) <u>課題例</u> .....	43
	<u>伴奏づけ（10～8級Bコースのみ）</u> .....	44
	<u>各級における出題範囲</u> .....	44
	(10級) <u>課題例、試験実施方法</u> .....	44
	(9級) <u>課題例、試験実施方法</u> .....	46
	(8級) <u>課題例、試験実施方法</u> .....	48
	<u>即興演奏（7・6級Bコースのみ）</u> .....	50
	<u>各級における出題範囲</u> .....	50
	(7級) <u>課題例、試験実施方法</u> .....	50
	(6級) <u>課題例、試験実施方法</u> .....	53
	<u>聴奏（Bコースのみ）</u> .....	57
	<u>各級における出題範囲（10～8級）</u> .....	57
	(10級) <u>課題例、試験実施方法</u> .....	57
	(9級) <u>課題例、試験実施方法</u> .....	60
	(8級) <u>課題例、試験実施方法</u> .....	64
	<u>聴奏7・6級（Bコースのみ）</u> .....	68
	<u>各級における出題範囲</u> .....	68
	(7級) <u>課題例、試験実施方法</u> .....	68
	(6級) <u>課題例、試験実施方法</u> .....	71
V	<u>結果通知について</u> .....	74
VI	<u>合否について</u> .....	74
VII	<u>参考資料</u> .....	76
	<u>スケールとカデンツ（Bコース10級～8級の出題範囲）</u> .....	76

# I ヤマハ音楽能力検定制度(ヤマハグレード)の概要

1967年に制定されたヤマハ音楽能力検定(ヤマハグレード)は、現在までに30以上の国と地域で実施され、受験者は1,000万人を超えて、音楽力の社会的評価基準として信頼されています。

ヤマハグレードは受験者の音楽力や目標に合わせてグレードの種類や級に分かれており、音楽を学んでいる方が、「現在どんな力がついていて」「今後どこに力をいれるべきか」を確認しながら音楽力を身につけていくことができます。

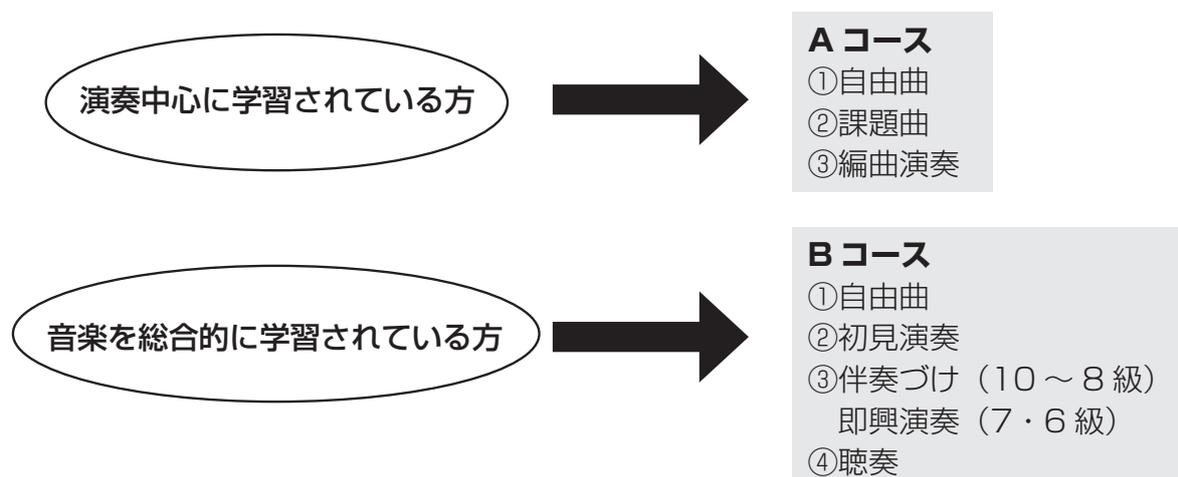


※1級は現在試験を設けておりません。

(2025年11月現在)

## エレクトーン演奏グレード 10～6級

音楽を学んでいる方や趣味で楽しんでいる方が主な対象者の10～6級には2つのコースが用意されていますので、学習の目的に応じて選択して受験していただけます。



## II 試験要項

- ① 受験資格 すべての試験について、年齢、学歴、国籍等の制限はありません。但し、試験は日本語のみでの対応となります。
- ② スケジュール 10～6級の試験はヤマハ特約楽器店が主催しています。  
試験実施日につきましては、ヤマハ特約楽器店にお問い合わせください。  
〈ヤマハ音楽教室にお通いの方〉  
担当の先生もしくはお通いのレッスン会場にお問い合わせください。  
〈ヤマハ音楽教室以外のレッスンにお通いの方〉  
お近くのヤマハ特約楽器店にお問い合わせください。
- ③ 申込方法 ヤマハ音楽教室に用意している申込書に記入し、受験料を添えて、お受けになる試験会場へ直接お申し込みください。追って会場より試験当日のご案内をいたします。なお、お客さまのご都合によるお申し込み後の変更や受験料の返却は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。

④ 受験料

	10級	9・8級	7・6級
受験料	5,500円(税込)	6,600円(税込)	7,700円(税込)

- ⑤ 試験官 ヤマハ音楽振興会が認定した試験官2名
- ⑥ 試験で使用するエレクトーン機種 試験の時に使用できるエレクトーンの種類及び記録用メディア(ストレージ)は、会場ごとに決められています。希望の種類・メディアが使えるかどうかは、受験する会場におたずねください。  
エレクトーンの新MDR機能は使用可能です。自由曲では市販のレジストデータをそのまま用いることもできます。  
MDR機能の使用範囲についてはレジスト情報(レジストデータの呼び出しと1～16のレジストメモリーのチェンジ、シーケンスのON、リズムSTART/STOPの情報、NEXT SONG及びNEXT SONG+の情報)の再生とテンポのパーセント変更の使用のみとします。上記以外のコントロール情報(パネル上の音色の変更、ボリュームの変更、テンポダイヤルや2nd Exp.によるリズムテンポの変更、またExp.、2nd Exp.の情報等)、及び演奏情報(XG音源によるサポートデータを含む)の再生は不可とします。
- ⑦ 結果通知 試験の結果は、実施後1ヶ月程度でヤマハ音楽振興会から、受験会場、あるいは担当の先生を通してご通知いたします。

### 合格者には「合格証書」として送られます。

- \* 結果通知の郵送を希望される場合は、申込時に郵送料を添えてお申し込みください。
- \* 結果通知は日本語のみでの対応となります。

■ 結果通知印字の氏名表記について、諸般の事情により2025年10月末をもって「外字」の対応を終了し類似文字に置換することといたします。2025年11月1日試験実施日以降より、申込用紙にご記入いただいた文字は、原則としてJIS第1水準、第2水準の文字を使用いたします。また同水準に含まれない文字「外字」は類似文字で置換するものとし、類似文字が見つからない場合には姓名とも全てカタカナ表記といたします。

■ 「合格証書」の再発行受付期間は試験日より1年以内とさせていただきます。受験会場までお申し込みください(再発行手数料:1,100円(税込))。

試験日より1年以上経過した場合は、10年以内で受験日・会場・級がおわかりになっている場合のみ「合格証明書」を発行いたします。ただし、「合格証明書」には到達度(点数)やアドバイス文章は記載されません。詳細はヤマハ音楽振興会グレードサイトにてご確認ください。(発行手数料:2,200円(税込))

- ※ 実施人数に満たない場合や天候・交通機関等の状況により、試験が延期・中止される場合があります。中止の場合の受験料は返金となります。
- ※ 試験内容を記録(録音・撮影・転記等)することを禁止いたします。
- ※ 試験室内への録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話、タブレット、スマートフォン等の持ち込みを禁止いたします。

# Ⅲ 試験の概要・試験の流れ

## Aコース

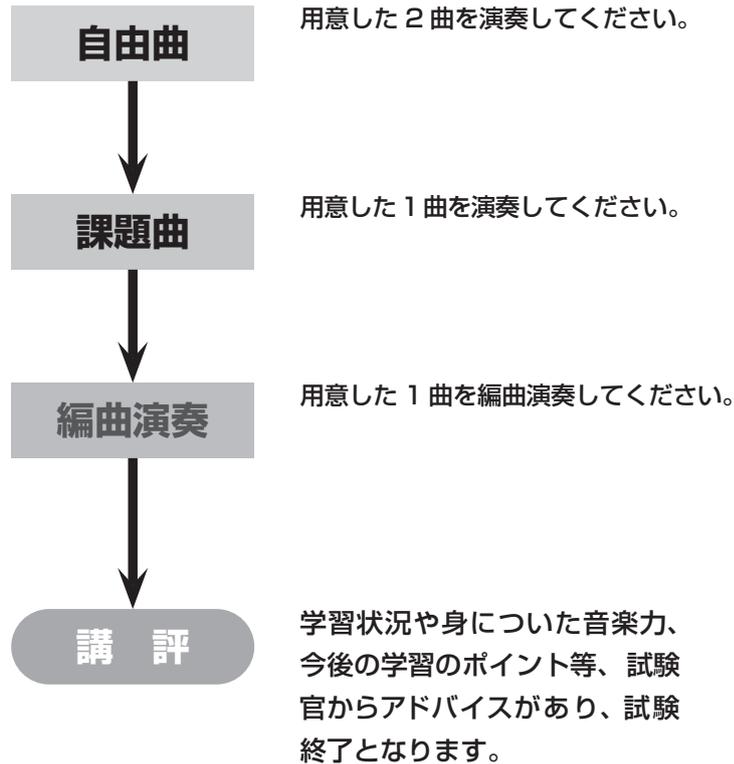
### 1. 試験の概要 ※詳細はⅣ 試験内容をご確認ください

	①自由曲	②課題曲	③編曲演奏	③の調と拍子の範囲	③のコードネーム・和音の種類等
6級	2曲用意し、 2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意する。 「新エレクトーン・レパートリー6級」 「新こどものエレクトーン・レパートリー6級」	16～32小節程度のコードネーム付メロディーの課題(P36-38)から1曲選び、2コーラス以上に編曲演奏する。	♯、♭1個までの 長調、短調 $\frac{4}{4}$ 、 $\frac{2}{2}$ 、 $\frac{3}{4}$	長3、短3、属7(副属7含)の和音
7級	2曲用意し、 2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意する。 「新エレクトーン・レパートリー7級」 「新こどものエレクトーン・レパートリー7級」	16小節程度のコードネーム付メロディーの課題(P28-30)から1曲選び、2コーラスに編曲演奏する。	ハ長調 へ長調 ト長調 $\frac{4}{4}$ 、 $\frac{2}{2}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $(\frac{2}{4})$ ※	各調のI、IV、II <sup>1</sup> 、V <sub>7</sub> 、副属7の和音
8級	2曲用意し、 2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意する。 「新エレクトーン・レパートリー8級」 「新こどものエレクトーン・レパートリー8級」	16小節程度のコードネーム付メロディーの課題(P28-30)から1曲選び、1～2コーラスに編曲演奏する。		
9級	2曲用意し、 2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意する。 「新エレクトーン・レパートリー9級」 「新こどものエレクトーン・レパートリー9級」	8小節程度のコードネーム付メロディーの課題(P20-21)から1曲選び、1～2コーラスに編曲演奏する。	ハ長調 $\frac{4}{4}$ 、 $\frac{2}{2}$	C、G7
10級	2曲用意し、 2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意する。 「新エレクトーン・レパートリー10級 Vol.1」 「新エレクトーン・レパートリー10級 Vol.2」 「新こどものエレクトーン・レパートリー10級 Vol.1」 「新こどものエレクトーン・レパートリー10級 Vol.2」			

※7級課題例「ヤンキー・ドゥードル」のみ $\frac{2}{4}$ となっております。

## 2. 試験の流れ

試験は次の流れで行います。試験室には受験者ご本人のみ入室いただきます。



\*それぞれの項目がスムーズに進まない場合には、試験官がフォローをしながら進めていきます。

※詳細は試験内容をご確認ください。

※ 試験内容を記録すること(録音・撮影・転記等)を禁止いたします。  
※ 試験室内への録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話、タブレット、スマートフォン等の持ち込みを禁止いたします。

## Bコース

## 1. 試験の概要

	①自由曲	②初見演奏	③即興演奏	④聴奏	②～④の範囲	
					調と和音	拍子
6級	2曲用意し、 2曲演奏する	12～16小節程度の 3段楽譜	12～16小節程度のメロディー に伴奏づけをし、続けて曲全体 を変奏する	8小節程度の 3段楽譜	P.8 参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $\frac{2}{4}$ 、 $\frac{6}{8}$
7級	2曲用意し、 2曲演奏する	12～16小節程度の 3段楽譜	8小節程度のメロディーに伴奏 づけをし、続けて曲全体を変奏 する	8小節程度の 3段楽譜	P.8 参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $\frac{2}{4}$ 、 $\frac{6}{8}$

	①自由曲	②初見演奏	③伴奏づけ	④聴奏 メロディー聴奏 ハーモニー聴奏	②～④の範囲	
					調と和音	拍子
8級	2曲用意し、 2曲演奏する	8小節程度の 2段楽譜	8小節程度のメロディーに和音 づけをし、続けてそれを伴奏の 形で演奏する	・8小節程度の メロディー ・4～6小節程度 のカデンツ ※Ⅱ <sup>1</sup> (Ⅱ <sub>6</sub> )は 含まない	P.7 参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $\frac{2}{4}$ 、 $\frac{6}{8}$
9級	2曲用意し、 2曲演奏する	8小節程度の 2段楽譜	8小節程度のメロディーに和音 づけをし、続けてそれを伴奏の 形で演奏する	・4小節程度の メロディー ・4～6小節程度 のカデンツ	P.7 参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$
10級	2曲用意し、 2曲演奏する	4小節程度の主とし てメロディーとベース による2段楽譜	8小節程度のメロディーに和音 づけをし、続けてそれを伴奏の 形で演奏する	・4小節程度の メロディー ・4小節程度の カデンツ	P.7 参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$

〈初見演奏、伴奏付け、即興演奏、聴奏のレジストについて〉

グレード事務局ウェブサイトに掲載しているレジストデータを事前に USB メモリーに保存し、試験当日に持参  
いただくようお願いいたします。なおレジストデータは、加工することのないようお願いいたします。

即興演奏（7・6級）のレジストについては「グレード事務局が準備したレジスト」あるいは「受験者ご自身で  
工夫したレジスト」のどちらも使用可能です。

レジスト内容についても、ウェブサイトに掲載していますので合わせてご確認ください。

レジストデータの掲載場所：

[http://www.yamaha-mf.or.jp/grade/examination/electone/grade10-6\\_201811.html#t03](http://www.yamaha-mf.or.jp/grade/examination/electone/grade10-6_201811.html#t03)

※受験要項が掲載されている場所に、レジストデータも掲載しています。

## Bコース 10～8級：初見演奏・伴奏づけ・聴奏の出題範囲（調と和音）

※下記のいずれかの調が出題されます。

10級			
調	長調	0	ハ長調
		#1	ト長調
		b1	ヘ長調
	短調	0	イ短調
和音	I、V <sub>7</sub>		

9級			
調	長調	0	ハ長調
		#1	ト長調
		b1	ヘ長調
	短調	0	イ短調
		b1	ニ短調
和音	I、IV、V <sub>7</sub>		

8級			
調	長調	0	ハ長調
		#1	ト長調
		b1	ヘ長調
	短調	0	イ短調
		#1	ホ短調
		b1	ニ短調
和音	I、IV、V、V <sub>7</sub> 、II <sup>1</sup> (II <sub>6</sub> )、I <sup>2</sup> (I <sub>6</sub> )		

## Bコース7・6級：初見演奏・即興演奏・聴奏の出題範囲（調と和音）

※下記のいずれかの調が出題されます。

※和音は適宜転回形を用います。

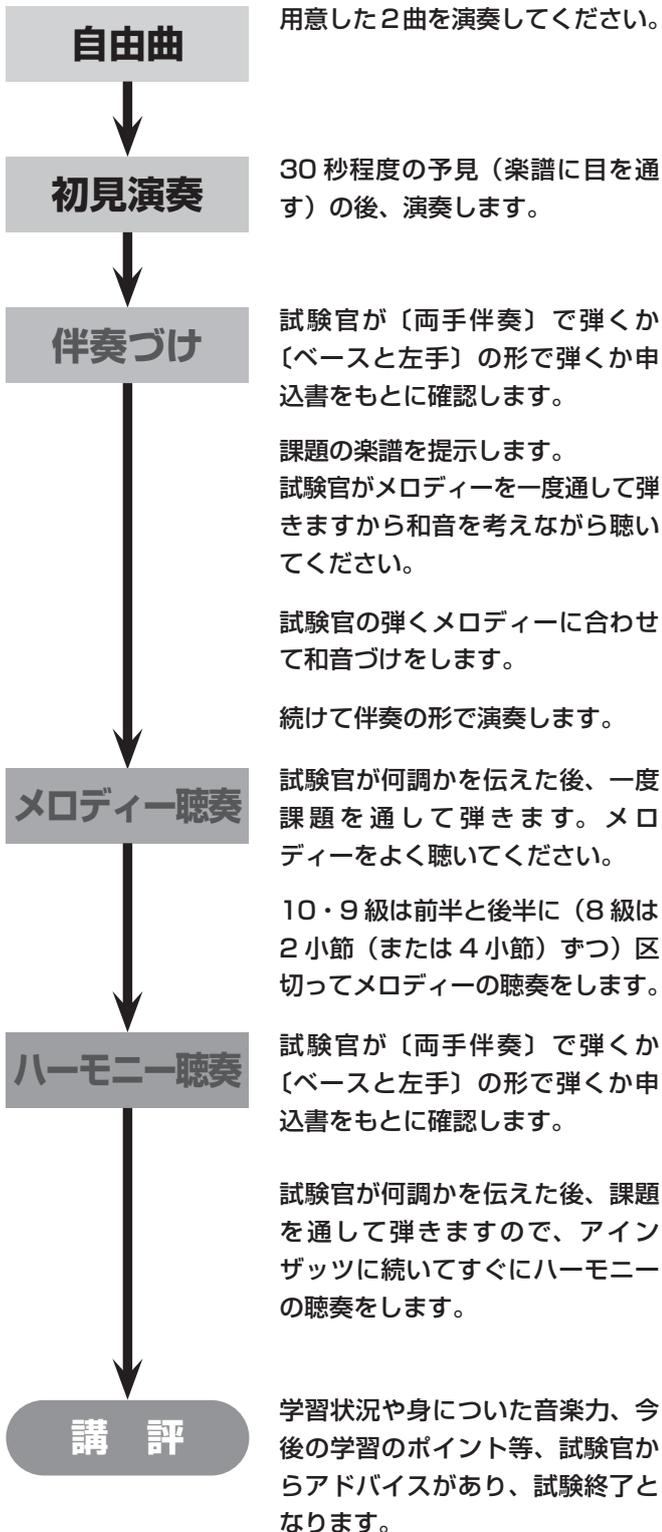
7 級			
調	長調	#1	ト長調
		#2	ニ長調
		b1	ヘ長調
		b2	変口長調
	短調	0	イ短調
		#1	ホ短調
		b1	ニ短調
		b2	ト短調
和音	I、IV、V、V <sub>7</sub> 、II		

6 級					
調	長調	#1	ト長調		
		#2	ニ長調		
		#3	イ長調		
		b1	ヘ長調		
		b2	変口長調		
		b3	変ホ長調		
	短調	#1	ホ短調		
		#2	ロ短調		
		b2	ト短調		
		b3	ハ短調		
		和音	I、IV、V、V <sub>7</sub> 、VI、II、V̇ <sub>7</sub>		

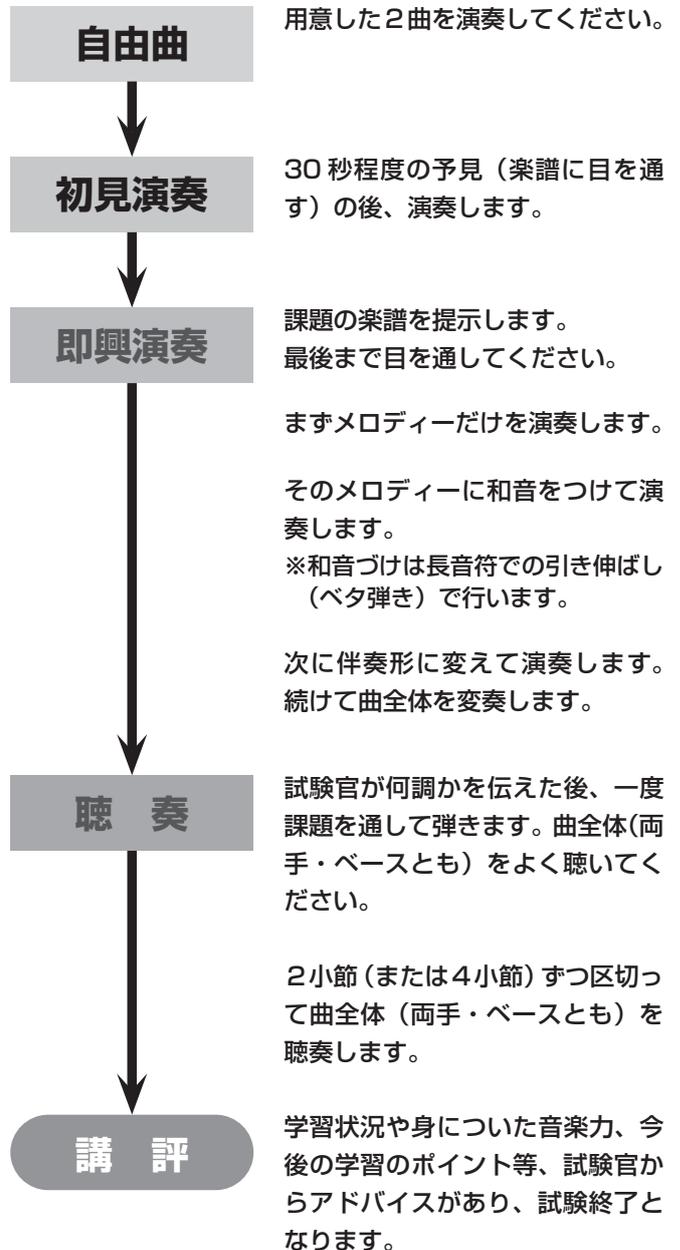
## 2. 試験の流れ

試験は次の流れで行います。試験室には受験者ご本人のみ入室いただきます。

10～8級



7・6級



\*それぞれの項目がスムーズに進まない場合には、試験官がアドバイスしたり、フォローをしながら進めていきます。

※詳細は試験内容をご確認ください。

※ 試験内容を記録すること（録音・撮影・転記等）を禁止いたします。  
※ 試験室内への録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話、タブレット、スマートフォン等の持ち込みを禁止いたします。

## IV 試験内容

### 自由曲・課題曲（Aコースのみ）

人前で演奏できる曲を持っていること、また、増えていくことの喜び、それが自由曲や課題曲の醍醐味です。「こんな風に表現したい」というイメージをもって意欲的に反復練習することが何より大切です。各級にふさわしい表現力や、基礎技術が判定されます。

#### 1. 規定曲数

自由曲	10～6級	Aコース・Bコース共通	2曲用意し、2曲演奏する
課題曲	10～6級	Aコースのみ	指定された曲集（曲目）の中から1曲を用意し、演奏する

※自由曲に自作曲（自編曲）を1曲含めることが可能です。その場合は申込用紙の曲目表にその旨をお書きください。先生あるいは友人等の作曲（編曲）した楽曲も自作曲（自編曲）の扱いになります。

#### 2. 選曲について

偏りのない選曲を心がけましょう。類似した曲が重複しないよう、できるだけ多様なジャンル・傾向の楽曲を組み合わせて選曲することが望まれます。

### 自由曲

- 1) ヤマハ発刊の出版物に掲載され、グレードの級表記のあるもの、もしくはそれらと同程度の楽曲を規定の曲数ご用意ください。  
※受験する級の表記のある楽曲、または同程度の楽曲の受験を基本といたしますが、受験級と違う級の楽曲も選曲することは可能です。例) 9級受験の場合に、8級に該当する曲を選曲する
- 2) ヤマハ音楽教育システム各コースにお通りの方はテキストから選曲することができます。担当の先生とご相談ください。
- 3) jet テキストの曲を選曲することができます。担当の先生とご相談ください。
- 4) サポート付楽曲（サポートデータ付き楽曲）での受験はできません。MDRでの演奏情報の再生、XG音源も一切使用できません。詳しくはP.3の「試験で使用するエレクトーン機種」のMDR機能の使用範囲をご確認ください。
- 5) 合唱曲の伴奏など他楽器とのアンサンブルで一つの音楽となっている曲については、自由曲として選択することはできません。
- 6) 受験級と選曲の関係は厳密なものではありません。受験する際は曲の難易度を考慮するだけでなく、ご自身の演奏力を十分発揮できるよう準備をすることが大切です。担当の先生、保護者の方とご相談の上、受験者ご自身でお決めください。

## 課題曲

12～14ページの「4. Aコース課題曲 曲集（曲目）リスト」の中から選曲してください。

### 3. 受験する際の留意点

- 1) 暗譜が望ましいですが、楽譜を見てもかまいません。楽譜を見て演奏する場合は、試験室での譜めくりの依頼は受け付けていません。受験者ご自身でできるよう工夫してください。
- 2) 演奏する曲の楽譜を必ず全曲持参してください。
- 3) 演奏は時間の都合上、カットさせていただくことがあります。ご了承ください。但し、このことにより判定に影響することはありません。
- 4) タブレットやスマートフォンは録音機能があるため、試験室内に持ち込み楽譜を表示させて演奏することはできません。

## 4. Aコース課題曲 曲集(曲目)リスト

10級			
TGTO1095876 【新エレクトーン・レパートリー10級 Vol.1】		TGTO1095885 【新こどものエレクトーン・レパートリー 10級 Vol.1】	
タラのテーマ	作曲/Max Steiner エレクトーン編曲/古賀かおり	キラキラ星	フランス民謡 エレクトーン編曲/小林陽一
茶色のこびん	アメリカ民謡 エレクトーン編曲/小林淑子	小さな世界	Words and Music by Richard M. Sherman and Robert B. Sherman
絲綢之路	作曲/喜多郎 エレクトーン編曲/小林陽一	ロンドン橋	イギリス民謡 エレクトーン編曲/峰村知子
さくら さくら	日本古謡 エレクトーン編曲/水野義子	いつも何度でも	作曲/木村 弓 エレクトーン編曲/古賀かおり
オーラ・リー	アメリカ民謡 エレクトーン編曲/篠崎秀子	びっくりシンフォニー	作曲/F. J. Haydn エレクトーン編曲/篠崎秀子
よろこびの歌	作曲/L. v. Beethoven エレクトーン編曲/鳥居達子	サザエさん	作曲/筒美京平 エレクトーン編曲/稲垣千章
地上の星	作詞・作曲/中島みゆき エレクトーン編曲/矢口理津子	ドナウ河のさざなみ	作曲/I. Ivanovici エレクトーン編曲/矢口理津子
スケーターズ・ワルツ	作曲/E. Waldteufel エレクトーン編曲/稲垣千章	聖者の行進	アメリカ民謡 エレクトーン編曲/稲垣千章
TGTO1095877 【新エレクトーン・レパートリー10級 Vol.2】		TGTO1095886 【新こどものエレクトーン・レパートリー 10級 Vol.2】	
黒い瞳	ロシア民謡 エレクトーン編曲/長野洋二	ユー・アー・マイ・サンシャイン	作曲/J. Davis エレクトーン編曲/矢口理津子
北の国から 一逢かなる大地より	作曲/さだまさし エレクトーン編曲/稲垣千章	ねこバス	作曲/久石 譲 エレクトーン編曲/篠崎秀子
ふるさと	作曲/岡野貞一 エレクトーン編曲/小林淑子	10人のインディアン	アメリカ民謡 エレクトーン編曲/水野義子
家路	作曲/A. Dvořák エレクトーン編曲/古賀かおり	チャパネカス	メキシコ民謡 エレクトーン編曲/長野洋二
星に願いを	Music by Leigh Harline	スーパーカリフラジリスティック エクスピアリドーシャス	Words and Music by Richard M. Sherman and Robert B. Sherman
峠のわが家	アメリカ民謡 エレクトーン編曲/峰村知子	美しく青きドナウ	作曲/J. Strauss II エレクトーン編曲/小林淑子
花	作曲/喜納昌吉 エレクトーン編曲/鳥居達子	ハム太郎 ととこうた	作曲/河井リツ子 エレクトーン編曲/小林陽一
アマポーラ	作曲/Jose Ma Lacalle エレクトーン編曲/矢口理津子	カチューシャ	作曲/M. I. Blanter エレクトーン編曲/鳥居達子

## 9級

TGT01095878 【新エレクトーン・レパートリー9級】		TGT01095887 【新こどものエレクトーン・レパートリー 9級】	
ジャンバラヤ	作曲／Hank Williams エレクトーン編曲／小林淑子	村祭り	文部省唱歌 エレクトーン編曲／長野洋二
シェリト・リンド	メキシコ民謡 エレクトーン編曲／矢口理津子	シューベルトの子守歌	作曲／F. Schubert エレクトーン編曲／鳥居達子
君の瞳に恋してる	作曲／Bob Crewe and Bob Gaudio エレクトーン編曲／小林陽一	アルプス一万尺	アメリカ民謡 エレクトーン編曲／峰村知子
愛のロマンス	スペイン民謡 エレクトーン編曲／矢口理津子	くまのプーさん	Words and Music by Richard M. Sherman and Robert B. Sherman
愛のあいさつ	作曲／E. Elgar エレクトーン編曲／古賀かおり	アイアイ	作曲／宇野誠一郎 エレクトーン編曲／古賀かおり
もののけ姫	作曲／久石 譲 エレクトーン編曲／稲垣千章	森へ行きましょう	ポーランド民謡 エレクトーン編曲／鳥居達子
ラ・クンパルシータ	作曲／Gerardo Matos Rodriguez エレクトーン編曲／稲垣千章	行商人(コロプチカ)	ロシア民謡 エレクトーン編曲／小林陽一
ホール・ニュー・ ワールド	Music by Alan Menken	君をのせて	作曲／久石 譲 エレクトーン編曲／篠崎秀子

## 8級

TGT01095879 【新エレクトーン・レパートリー8級】		TGT01095888 【新こどものエレクトーン・レパートリー 8級】	
ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡 エレクトーン編曲／長野洋二	バッハのメヌエット	作曲／J. S. Bach エレクトーン編曲／松井みか
メリー・クリスマス・ ミスター・ローレンス	作曲／坂本龍一 エレクトーン編曲／鳥居達子	さんぽ	作曲／久石 譲 エレクトーン編曲／矢口理津子
夏の思い出	作曲／中田喜直 エレクトーン編曲／古賀かおり	ララルー	Words and Music by Peggy Lee and Sonny Burke
旅立ち	作曲／久石 譲 エレクトーン編曲／篠崎秀子	おどるポンポコリン	作曲／織田哲郎 エレクトーン編曲／小林陽一
パリの空の下	作曲／Hubert Giraud エレクトーン編曲／小林淑子	ドナドナ	作曲／Sholom Secunda エレクトーン編曲／稲垣千章
ラブ	作曲／Bert Kaempfelt and Milt Gabler エレクトーン編曲／稲垣千章	通りゃんせ	わらべうた エレクトーン編曲／峰村知子
太陽にほえろ！ メインテーマ	作曲／大野克夫 エレクトーン編曲／小林陽一	ねこぶんじゃった	作曲者不詳 エレクトーン編曲／長野洋二
愛の夢 第3番	作曲／F. Liszt エレクトーン編曲／矢口理津子	大きな古時計	作曲／H. C. Work エレクトーン編曲／篠崎秀子

## 7級

TGT01095880 【新エレクトーン・レパートリー7級】		TGT01095889 【新こどものエレクトーン・レパートリー 7級】	
美女と野獣	Words by Howard Ashman Music by Alan Menken	チム・チム・チェリー	Words and Music by Richard M. Sherman and Robert B. Sherman
フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン	作曲／Bart Howard エレクトーン編曲／小林淑子	アビニヨンの橋の上で	フランス民謡 エレクトーン編曲／長野洋二
別れの曲	作曲／F. F. Chopin エレクトーン編曲／鳥居達子	天国と地獄	作曲／J. Offenbach エレクトーン編曲／鳥居達子
ロッキーのテーマ	作曲／Bill Conti エレクトーン編曲／篠崎秀子	コミカル・トレイン	作曲／渡辺睦樹 エレクトーン編曲／水野義子
浜辺の歌	作曲／成田為三 エレクトーン編曲／稲垣千章	サークル・オブ・ライフ	Music by Elton John Words by Tim Rice
ブラジル	作曲／Ary Barroso エレクトーン編曲／矢口理津子	赤とんぼ	作曲／山田耕筰 エレクトーン編曲／矢口理津子
グリーンスリーブス	イングランド民謡 エレクトーン編曲／峰村知子	トロイカ	ロシア民謡 エレクトーン編曲／小林陽一
夜空ノムコウ	作曲／川村結花 エレクトーン編曲／古賀かおり	世界に一つだけの花	作曲／槇原敬之 エレクトーン編曲／小林陽一

## 6級

TGT01095881 【新エレクトーン・レパートリー6級】		TGT01095890 【新こどものエレクトーン・レパートリー 6級】	
威風堂々	作曲／E. Elgar エレクトーン編曲／鳥居達子	いつか王子様が	Music by Frank Churchill
遥かなる影 ～クロス・トゥー・ユー～	作曲／Burt Bacharach エレクトーン編曲／篠崎秀子	フニクリ・フニクラ	作曲／Luigi Denza エレクトーン編曲／水野義子
もみじ	作曲／岡野貞一 エレクトーン編曲／古賀かおり	夕焼け小焼け	作曲／草川 信 エレクトーン編曲／矢口理津子
愛を感じて	Music by Elton John Words by Tim Rice	セサミストリートの テーマ	作曲／Bruce Hart, Joseph Raposo and Jon Stone エレクトーン編曲／長野洋二
私のお気に入り ～マイ・フェア・リット・シングス～	作曲／Richard Rodgers エレクトーン編曲／小林淑子	虹の彼方に	作曲／Harold Arlen エレクトーン編曲／峰村知子
TSUNAMI	作曲／桑田佳祐 エレクトーン編曲／小林陽一	ラデツキー行進曲	作曲／J. Strauss I エレクトーン編曲／稲垣千章
マシュ・ケ・ナダ	作曲／Jorge Ben エレクトーン編曲／峰村知子	ルパン三世のテーマ	作曲／大野雄二 エレクトーン編曲／松井みか
TRUTH	作曲／安藤まさひろ エレクトーン編曲／小林陽一	エル・クンパンチェロ	作曲／R. Hernandez エレクトーン編曲／稲垣千章

(2025年11月現在)

※上記 10～6級曲集に対応の別売りのデータ販売について

ELS-02用	10～6級 販売中
ELS-01用	10～6級 販売中
ELB-01 (ステージアミニ) 用	10・9・8級のみ 販売中

ELB-01 (ステージアミニ) 用 7・6級、及び EL シリーズ用 10～6級については販売の予定はありません。

※別売データの変更や楽曲の差し替え等により商品コードが変更になる場合があります。

その場合は、旧商品での使用も可能です。

楽曲の差し替えの場合には旧商品に掲載されている曲も課題曲とします。

### 【商品コード・楽曲変更情報】

〈2025年11月現在〉

曲集	現商品コード	旧商品コード		旧商品に掲載されている曲 (現商品では削除されている曲)
新エレクトーン・レパートリー 10級 Vol.1	TGT01095876	TELO1087116	GTE746100	
新エレクトーン・レパートリー 10級 Vol.2	TGT01095877	TELO1087117	GTE746110	
新こどものエレクトーン・レパートリー 10級 Vol.1	TGT01095885	TELO1087124 TELO1090586	GTE746180	
新こどものエレクトーン・レパートリー 10級 Vol.2	TGT01095886	TELO1087125 TELO1090587	GTE746190	
新エレクトーン・レパートリー 9級	TGT01095878	TELO1087118 TELO1090857	GTE746120	
新こどものエレクトーン・レパートリー 9級	TGT01095887	TELO1087126 TELO1090585	GTE746200	
新エレクトーン・レパートリー 8級	TGT01095879	TELO1087119	GTE746130	
新こどものエレクトーン・レパートリー 8級	TGT01095888	TELO1087127 TELO1090854	GTE746210	
新エレクトーン・レパートリー 7級	TGT01095880	TELO1087120 TELO1090855	GTE746140	
新こどものエレクトーン・レパートリー 7級	TGT01095889	TELO1087128 TELO1088844	GTE746220	トゥモロー 作曲／Charles Strouse エレクトーン編曲／稲垣千草
新エレクトーン・レパートリー 6級	TGT01095881	TELO1087121 TELO1090583	GTE746150	
新こどものエレクトーン・レパートリー 6級	TGT01095890	TELO1087129	GTE746230	

◆表中の商品コードのものや曲も使用できます。

商品コードの変更や楽曲の差し替えの最新情報は、[ヤマハ音楽振興会グレードサイト](http://www.yamaha-mf.or.jp/grade/)でお知らせいたします。  
<http://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>

## 編曲演奏（Aコースのみ）

「編曲内容（曲想）を表現している演奏であるか」という点について判定します。  
編曲した内容を十分表現できるよう、練習しましょう。

### 10・9級

20～21ページに載っている課題の中より、1曲選び1～2コーラスに編曲演奏してください。  
基本は和音づけ または伴奏づけとします。2コーラス目で伴奏の変化やメロディーの変奏を行うこともよいでしょう。

### 【試験実施方法】

- 1) 受験者が選曲した課題と同じメロディー譜（20～21ページの課題と同じ楽譜）を試験官が提示します。
- 2) 編曲演奏します。
  - ・ 予め編曲して書いた楽譜を持参し、見ながら演奏してもかまいません。
  - ・ レジストデータも準備してきてください。

### 【課題例】

### こぐまのマーチ

外国の曲

The musical score for 'こぐまのマーチ' is presented in two staves. The key signature is one sharp (F#), and the time signature is 2/4. The melody is written in a simple, rhythmic style. The first staff contains four measures, and the second staff contains four measures, ending with a double bar line. Chord symbols (C, G7) are placed above the notes in each measure to indicate the harmonic structure.

## 【実施例】

## ①和音づけ例

Allegretto 外国の曲

C C G7 C

C C G7 C

## ②伴奏づけ例

Allegretto

C C G7 C

C C G7 C

## ③和音づけ+メロディー変奏例

Allegretto

First system of musical notation for exercise 3. The right hand plays a melody of eighth notes with slurs. The left hand plays chords: C, C, G7, and C. The bass line consists of whole notes.

Second system of musical notation for exercise 3. The right hand melody continues. The left hand chords are C, C, G7, and C. The bass line has whole notes.

## ④伴奏づけ+メロディー変奏例

Allegretto

First system of musical notation for exercise 4. The right hand melody is the same as in exercise 3. The left hand chords are C, C, G7, and C. The bass line has whole notes.

Second system of musical notation for exercise 4. The right hand melody continues. The left hand chords are C, C, G7, and C. The bass line has whole notes.

**【演奏例】****■ 1 コーラスの場合**

- ・①和音づけ例
- ・②伴奏づけ例

**■ 2 コーラスの場合**

- ・①和音づけ例と②伴奏づけ例を続けます。
- ・①和音づけ例と③和音づけ+メロディー変奏例を続けます。
- ・①和音づけ例と④伴奏づけ+メロディー変奏例を続けます。
- ・②伴奏づけ例と④伴奏づけ+メロディー変奏例を続けます。

※アーティキュレーションなどは編曲内容に応じて、受験者が決めてください。

## 10・9 級編曲演奏課題

## みつばちマーチ

外国の曲

1

## メリーさんのひつじ

アメリカの曲

2

## 結婚の踊り

エストニアの曲

3

## とけい

外国の曲

4

### きつつき

C. ツェルニー

5

C C C G7

C C G7 C

### ぞう

外国の曲

6

C C C G7

G7 G7 G7 C

## 8・7級

28～30ページに載っている課題の中より1曲選び、8級は1～2コーラス、7級では2コーラスの編曲演奏をしてください。

8級、7級とも伴奏づけをし、2コーラスの場合は2コーラス目で伴奏の変化、メロディーの変奏などを行います。

### 【試験実施方法】

- 1) 受験者が選曲した課題と同じメロディー譜(28～30ページの課題と同じ楽譜)を試験官が提示します。
- 2) 編曲演奏します。
  - ・ 予め編曲して書いた楽譜を持参し、見ながら演奏しても構いません。
  - ・ レジストデータも準備してきてください。

### 【課題例】

### 帰省

ドイツの曲

The musical score for '帰省' is presented in four staves. The first two staves show the melody with chords C, F, G7, and C. The third staff shows a variation of the melody with chords C, G7, G7, and C. The fourth staff shows the melody with chords C, F, G7, and C. The time signature is 3/4.

## [実施例]

## ①伴奏づけ例

**Allegretto**

C Cl. St. など F G7 C

C F G7 C

C G7 G7 C

C F G7 C

## ②伴奏づけ+メロディー変奏例

**Allegretto**

The score consists of four systems of music. Each system includes a grand staff (treble and bass clefs) and a separate bass line. The first system is marked with 'C', 'F', 'G7', and 'C' above the measures. The second system is also marked with 'C', 'F', 'G7', and 'C'. The third system has 'C', 'G7', 'G7', and 'C' above the measures, with a dashed line indicating a melodic variation in the third measure. The fourth system is marked with 'C', 'F', 'G7', and 'C'. The tempo is 'Allegretto' and the time signature is 3/4.

## ③伴奏の変化例

**Allegretto**

C F G7 C

C F G7 C

C G7 G7 C

C F G7 C

## ④ 伴奏の変化+メロディー変奏例

*Allegretto*

The score consists of four systems, each with a grand staff (treble and bass clefs) and a separate bass line. The first system is marked *Allegretto* and has a tempo of 3/4. The melody is in the treble clef, and the accompaniment is in the bass clef. The first system has four measures with chords C, F, G7, and C. The second system has four measures with chords C, F, G7, and C. The third system has four measures with chords C, G7, G7, and C. The fourth system has four measures with chords C, F, G7, and C. The melody in the first system is a simple eighth-note pattern. In the second system, the melody is a simple eighth-note pattern. In the third system, the melody is a simple eighth-note pattern. In the fourth system, the melody is a simple eighth-note pattern.

**【演奏例】****■ 1 コーラスの場合 (8 級のみ)**

①伴奏づけ例

③伴奏の変化例

**■ 2 コーラスの場合 (8・7 級)**

- ・ ①伴奏づけ例と②伴奏づけ+メロディー変奏例を続けます。
- ・ ①伴奏づけ例と③伴奏の変化例を続けます。
- ・ ①伴奏づけ例と④伴奏の変化+メロディー変奏例を続けます。
- ・ ③伴奏の変化例と④伴奏の変化+メロディー変奏例を続けます。

※アーティキュレーションなどは編曲内容に応じて、受験者が決めてください。

## 8・7 級編曲演奏課題

## 茶色の小びん

アメリカの曲

1

F B<sup>b</sup> C7 F

F B<sup>b</sup> C7 F

F B<sup>b</sup> C7 F

F B<sup>b</sup> C7 F

## わらの中の七面鳥

アメリカの曲

2

G G G D7

G G G D7 G

G G C C

G G D7 G D7 G

## 町のいざかやにて

イギリスの曲

3

F F F F

C7 C7 C7 C7

F F B<sup>b</sup> B<sup>b</sup>

C7 C7 F F

## ヤンキー・ドゥードル

アメリカ民謡

4

C C G7 C C G7

C F G7 C

F F C C

F F C G7 C

### 気のいいアヒル

ボヘミア民謡

5

### アメージング・グレース

作曲者不詳

6

## 6級

36～38ページに載っている課題の中より、1曲選び2コーラス以上の編曲演奏をしてください。2コーラス以降は、1コーラス目に対し、リズム変奏、メロディーフェイク、重音奏、レジストの変化等、曲想に応じ何らかの変化をつけます。曲としてのまとまり（曲の盛り上げ等）も大切にしてください。

## 【試験実施方法】

- 1) 受験者が選曲した課題と同じメロディー譜（36～38ページの課題と同じ楽譜）を試験官が提示します。
- 2) 編曲演奏します。
  - ・予め編曲して書いた楽譜を持参し、見ながら演奏してもかまいません。
  - ・レジストデータも準備してきてください。

## 【課題例】

## 川べで君と

黒人霊歌

[実施例]

Swing ♩=♩<sup>3</sup>

C F G7 U.K. Tp.

L.K. Br.

C

G7 C

C

Dm G7 C Vib.

F C

Musical notation for the first system, measures 1-4. Treble clef has a melody starting on F4. Bass clef has a bass line starting on C3. Chords F and C are indicated above the staff.

G7 C C7

Musical notation for the second system, measures 5-8. Treble clef has a melody starting on G4. Bass clef has a bass line starting on G2. Chords G7, C, and C7 are indicated above the staff.

F C

Musical notation for the third system, measures 9-12. Treble clef has a melody starting on F4. Bass clef has a bass line starting on C3. Chords F and C are indicated above the staff.

Dm G7 C Cl.

Musical notation for the fourth system, measures 13-16. Treble clef has a melody starting on D4. Bass clef has a bass line starting on D2. Chords Dm, G7, C, and Cl. are indicated above the staff.

C

Musical notation for the fifth system, measures 17-20. Treble clef has a melody starting on C4. Bass clef has a bass line starting on C3. Chord C is indicated above the staff.

G7 C

This system contains the first two measures of the piece. The right hand features a melody with a dotted quarter note and an eighth note, followed by a quarter note and a half note. The left hand provides a harmonic accompaniment with chords and a bass line.

C

This system contains the next two measures. The right hand continues the melody with a quarter note, a half note, and a quarter note. The left hand accompaniment remains consistent with the previous system.

Dm C G7 C Tp.

This system contains the next four measures. The right hand melody includes a half note, a quarter note, and a half note. The left hand accompaniment continues. The system concludes with a double bar line and the instruction 'Tp.'.

F C

This system contains the next two measures. The right hand melody features a half note, a quarter note, and a half note. The left hand accompaniment continues.

G7 C C7

This system contains the final two measures. The right hand melody includes a half note, a quarter note, and a half note. The left hand accompaniment continues. The system concludes with a double bar line.

The image displays two systems of musical notation for piano. Each system consists of a grand staff with a treble clef and a bass clef. The first system features a melody in the treble clef and a bass line in the bass clef. Chords are indicated above the treble staff: 'F' at the beginning, 'C' above the second measure, and 'C' above the third measure. The second system continues the melody and bass line. Chords are indicated as 'Dm' above the first measure, 'C' above the second measure, 'G7' above the third measure, and 'C' above the fourth measure. A 'Vib.' marking is placed above the treble staff in the final measure of the second system, accompanied by a wavy line. The piece concludes with a double bar line.

## 6 級編曲演奏課題

## 聖者の行進

Medium

アメリカ民謡

1

F F C7 C7 F F7 B<sup>b</sup> B<sup>bm</sup> F C7 F

## さらばジャマイカ

Medium

西インド諸島民謡

2

G C D7 G G C D7 G G Am D7 G G Am G D7 G

# 峠の我が家

アメリカ民謡

3 *Slowly*

The musical score consists of six staves of music in 3/4 time, marked *Slowly*. The key signature has one sharp (F#). The chords and markings are as follows:

- Staff 1: Chords C, F. Marking: 3.
- Staff 2: Chords C, D7, G7.
- Staff 3: Chords C, F, Fm.
- Staff 4: Chords C, G7, C. Marking: *Fine*.
- Staff 5: Chords G7, C.
- Staff 6: Chords Am, D7, G7. Marking: *D.S.*

# 黒い瞳

ロシア民謡

Medium fast

4

The musical score consists of four staves of music in 3/4 time. The key signature has one sharp (F#). The tempo is marked 'Medium fast'. The score includes the following elements:

- Staff 1:** Starts with a treble clef and a 4-measure rest. The melody begins with a quarter note F#4, followed by quarter notes G4, A4, and B4. A repeat sign follows. The melody continues with quarter notes C5, B4, A4, and G4. Chords E7 and Am are indicated above the staff.
- Staff 2:** Continues the melody with quarter notes F#4, G4, A4, and B4. Chords E7, Am, and Dm are indicated above the staff.
- Staff 3:** Continues the melody with quarter notes C5, B4, A4, and G4. Chords Am and E7 are indicated above the staff. A first ending bracket labeled '1.' spans the final two measures.
- Staff 4:** Continues the melody with quarter notes F#4, G4, A4, and B4. Chords Am, E7, and Am are indicated above the staff. A second ending bracket labeled '2.' spans the final two measures, which end with a double bar line.

## 初見演奏 (Bコースのみ)

「調・拍子・音・リズム」の4つの要素を捉えて演奏できるかどうかを判定します。この4つの要素を意識しながら、「楽譜を読んですぐに弾く」という練習を行きましょう。

### 【試験実施方法】

- 1) 30秒程度問題を見ます。(予見)
- 2) 試験官の合図があったら、楽譜を見ながら通して演奏します。  
(例「では、始めてください」「はい、どうぞ」)  
※調や拍子を必ず確認してから演奏するよう心がけましょう。

### 【各級における出題範囲】

10～8級は P. 7、7・6級は P. 8 をご確認ください。

## 10級

### 【課題例】



## 8級

## [課題例]

The first system of the musical score consists of two staves. The upper staff is in treble clef with a common time signature (C). It begins with a first finger (1) on a quarter note, followed by a series of eighth notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. A slur covers the first two measures. The lower staff is in bass clef with a common time signature (C). It features a series of chords: a triad of G2, B2, D3 in the first measure; a triad of G2, B2, D3 in the second measure; a triad of G2, B2, D3 with a sharp sign (F#) in the third measure; and a triad of G2, B2, D3 in the fourth measure.

The second system of the musical score consists of two staves. The upper staff is in treble clef with a common time signature (C). It continues with eighth notes: F#4, E4, D4, C4, B3, A3, G3. A slur covers the first two measures. The lower staff is in bass clef with a common time signature (C). It features a series of chords: a triad of G2, B2, D3 in the first measure; a triad of G2, B2, D3 in the second measure; a triad of G2, B2, D3 with a sharp sign (F#) in the third measure; and a triad of G2, B2, D3 in the fourth measure. The system concludes with a double bar line.

## 7級

## 【課題例】

## Moderato

The musical score is for a piece in 2/4 time, B-flat major. It is divided into three systems of piano accompaniment. The first system begins with a mezzo-forte (*mf*) dynamic. The second system includes a crescendo (*cresc.*) marking. The third system includes mezzo-piano (*mp*) and mezzo-forte (*mf*) dynamics. The bass line features a simple harmonic accompaniment with a final cadence.

## 6級

## [課題例]

Moderato

*f*

*mf* *cresc.*

*f*

## 伴奏づけ（10～8級Bコースのみ）

「メロディーに対し適切な調・和音がわかる力」と「メロディーに合う伴奏を、流れの中で演奏できる力」を判定します。簡単なメロディーに和音をつけ、伴奏形にして演奏する練習を反復して行いましょう。

出題範囲の調・和音も確認しておきましょう。

### 【各級における出題範囲】

P. 7 をご確認ください。

## 10級

### 【課題例】

#### Allegretto

10級の〔伴奏づけ〕の課題には、ベース音が提示されています。

## 【試験実施方法】

- 1) 試験官が〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か申込書をもとに確認をとります。
- 2) 試験官がメロディーを一度通して弾きますので、楽譜を見ながらよく聴いてください。
- 3) 次に、試験官の弾くメロディーに合わせて、提示されたベース音に基づいて適切な和音をつけ演奏します。

「1、2、3 (ハイ)」

**Allegretto**

試験官

受験者

「ハイ、伴奏を変えて...」

- 4) 続けて、それを伴奏の形で演奏します。

**Allegretto**

試験官

受験者

※ベース（ペダル）と左手による演奏の場合の伴奏は自動演奏機能を用いず、ノーマル演奏によるものとします。

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏できるよう練習しておくといでしょう。

## 9級

## 【課題例】

Andantino

The musical score is for a piece titled "Andantino" at the 9th grade level. It is written in 3/4 time and B-flat major. The score is presented in two systems. The first system features a treble clef staff with a melody of quarter notes: Bb, C, D, E, F, G, A, Bb, C, D, E, F, G, A, Bb. The melody is divided into two phrases by a slur. The bass clef staff has a simple accompaniment of half notes: Bb, C, D, E, F, G, A, Bb. The second system continues the melody in the treble clef: Bb, C, D, E, F, G, A, Bb, C, D, E, F, G, A, Bb. The bass clef staff continues with half notes: Bb, C, D, E, F, G, A, Bb. The piece ends with a double bar line.

9級の〔伴奏づけ〕の課題には、ベース音が提示されています。

## 【試験実施方法】

- 1) 試験官が〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か申込書をもとに確認をとります。
- 2) 試験官がメロディーを一度通して弾きますので、楽譜を見ながらよく聴いてください。
- 3) 次に、試験官の弾くメロディーに合わせて、提示されたベース音に基づいて適切な和音をつけ演奏します。

「1、2、3、(ハイ)」

試験官

受験者

「ハイ、伴奏を変えて...」

試験官

受験者

※ベース（ペダル）と左手による演奏の場合の伴奏は自動演奏機能を用いず、ノーマル演奏によるものとします。

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏できるように練習しておくといでしょう。

## 8級

## [課題例]

## Allegretto

The musical score is written for piano and consists of two systems. The first system shows the beginning of the piece. The treble clef staff has a key signature of one sharp (F#) and a time signature of common time (C). The melody starts with a quarter note G4, followed by eighth notes A4 and B4, and a quarter note C5. The bass clef staff shows a whole note chord G2-B2-D3. The second system continues the melody with a quarter note D5, followed by eighth notes C5 and B4, and a quarter note A4. The bass line continues with a whole note chord G2-B2-D3. The piece ends with a double bar line.

9級までとは違い、8級の課題ではベース音は提示されませんが、開始和音が音符で記されます。メロディーと和音の関係をベース音も含め理解し、和音の配置にも気をつけながら演奏してください。

## 【試験実施方法】

- 1) 試験官が〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か申込書をもとに確認をとります。
- 2) 試験官がメロディーを一度通して弾きますので、開始和音に気をつけて楽譜を見ながらよく聴いてください。
- 3) 次に、試験官の弾くメロディーに合わせて、開始和音に続いて適切な和音をつけ演奏します。

「1、2、3、(ハイ)」

**Allegretto**

試験官

受験者

「ハイ、伴奏を変えて...」

- 4) 続けて、それを伴奏の形で演奏します。

**Allegretto**

試験官

受験者

(※伴奏は自動機能を用いずノーマル演奏によるものとします。)

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏できるように練習しておくといでしょう。

## 即興演奏（7・6級Bコースのみ）

「メロディーに合う伴奏を演奏できる力」と「曲全体を変奏できる力」を判定します。簡単なメロディーを自分なりにアレンジすることを多く経験してみましょう。

出題範囲の調・和音も確認しておきましょう。

### 【各級における出題範囲】

P. 8 をご確認ください。

## 7級

### 【課題例】

### 【試験実施方法】

- 1) 与えられた課題のメロディーに目を通します。
- 2) 即興演奏を行うために、課題のメロディーだけを弾きメロディーを把握します。正しく読めない場合は試験官が状況に応じフォローを行います。

**フォロー例** 「試験官と一緒にメロディーを読む」、「試験官がメロディーを歌う」、  
「試験官がメロディーを区切って弾く（受験者はそのとおりにまねをする）」

※メロディーの演奏は、評価の対象とはなりません。

3) そのメロディーに和音をつけて演奏します。

※和音づけは長音符での引き伸ばし（ベタ弾き）で行います。

※和音づけが上手くいかない場合は、試験官が状況に応じフォローを行います。

※和音づけ以降は、評価の対象となります。

**Allegretto**

受験者

4) 次に伴奏形に変えて、通して演奏します。

**Allegretto**

受験者

5) 続けて曲全体を変奏します。

**Allegretto**

受験者

The musical score consists of two systems of four measures each. The first system shows a melodic line in the treble clef and a bass line in the bass clef. The second system continues the melody and bass line, ending with a double bar line. The tempo is marked 'Allegretto'.

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏でき、変奏できるよう練習しておくといでしょう。伴奏形に変えた時と曲全体を変奏した時に伴奏形が同じであっても構いませんが、曲全体を変奏する際に伴奏形も更に変えることができた場合は評価の対象(加点要素)となります。

## 6級

## [課題例]

The first system of the exercise consists of three staves. The top staff is in treble clef with a key signature of two flats (B-flat and E-flat) and a common time signature (C). It contains a melodic line of eighth notes: G4, A4, B-flat4, C5, B-flat4, A4, G4, followed by a half note G4. The second and third staves are in bass clef with the same key signature and time signature, and they are currently empty.

The second system continues the exercise. The top staff has a melodic line of eighth notes: G4, A4, B-flat4, C5, B-flat4, A4, G4, followed by a half note G4. The second and third staves are empty.

The third system continues the exercise. The top staff has a melodic line of eighth notes: G4, A4, B-flat4, C5, B-flat4, A4, G4, followed by a half note G4. The second and third staves are empty.

The fourth system concludes the exercise. The top staff has a melodic line of eighth notes: G4, A4, B-flat4, C5, B-flat4, A4, G4, followed by a half note G4. The second and third staves are empty.

## 【試験実施方法】

- 1) 与えられた課題のメロディーに目を通します。
- 2) 即興演奏を行うために、課題のメロディーだけを弾きメロディーを把握します。正しく読めない場合は試験官が状況に応じフォローを行います。

**フォロー例** 「試験官と一緒にメロディーを読む」、「試験官がメロディーを歌う」、  
「試験官がメロディーを区切って弾く(受験者はそのとおりにまねをする)」

※メロディーの演奏は、評価の対象とはなりません。

- 3) そのメロディーに和音をつけて演奏します。

※和音づけは長音符での引き伸ばし(ベタ弾き)で行います。

※和音づけが上手くいかない場合は、試験官が状況に応じフォローを行います。

※和音づけ以降は、評価の対象となります。

### Moderato

The musical score is for a piece in Moderato tempo. It is written in a key signature of two flats (B-flat and E-flat) and common time (C). The score is divided into four systems, each containing four measures. The melody is written in the treble clef and consists of a simple, ascending line of eighth notes. The accompaniment is written in the bass clef and consists of chords and single notes. The first system shows the melody starting on G4 and moving up to D5. The second system continues the melody up to A5. The third system continues the melody up to B5. The fourth system concludes the melody on C6. The accompaniment in the bass line consists of chords and single notes that support the melody.

4) 次に伴奏形に変えて、通して演奏します。

**Moderato**

The musical score is written for piano and consists of four systems. Each system contains a grand staff with a treble clef and a bass clef. The tempo is marked 'Moderato'. The key signature is B-flat major (two flats). The time signature is common time (C). The right hand part features a melodic line with a slur over the first four notes of each measure, while the left hand provides a steady eighth-note accompaniment. The score concludes with a double bar line at the end of the fourth system.

5) 続けて曲全体を変奏します。

Moderato

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏でき、変奏できるよう練習しておくといでしょう。伴奏形に変えた時と曲全体を変奏した時に伴奏形が同じであっても構いませんが、曲全体を変奏する際に伴奏形を更に変えることができた場合は評価の対象(加点要素)となります。

## 聴奏 (Bコースのみ)

聴奏とは、聴いた音楽を演奏（再現）することです。この項目では聴いたメロディー・ハーモニーを再現できる力について判定します。10～8級ではメロディー聴奏とハーモニー聴奏が別の項目になっていますが、7・6級ではメロディーとハーモニーが含まれた曲を聴奏します。聴奏の練習を行うことも大切ですが、楽曲を演奏する際などにメロディーやハーモニーをよく聴くことも重要です。出題範囲の調・和音も確認しておきましょう。

### 【各級における出題範囲】

10～8級は P. 7 をご確認ください。

## 10級

### メロディー聴奏

#### 【課題例】

## 【試験実施方法】

- 1) 試験官が、試験官用・受験者用エレクトーンのレジストを同じ傾向の音色にセットします。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して伴奏つきで弾きます。

試験官

- 3) 次に試験官が伴奏つきで前半を弾きます。アインザッツ※に続いて前半のメロディーを聴奏してください。  
(その際、試験官は伴奏のみ弾きます。) ※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

受験者

試験官

- 4) 続いて試験官が後半を弾きますので、同様に聴奏してください。

受験者

試験官

## ハーモニー聴奏

### 【課題例】

( ) 音は〔ベースと左手〕の場合の左手

※両手伴奏の場合、右手は、開始和音が第5音高位の配置  
 ※1小節につき1種類の和音

### 【試験実施方法】

- 1) 試験官が〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か申込書をもとに確認をとります。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、通して弾きます。
- 3) アインザッツに続いてそれを聴奏してください。

※状況に応じ区切って提示されます。

## 9級

## メロディー聴奏

## 【課題例】

Moderato

## 【試験実施方法】

- 1) 試験官が、試験官用・受験者用エレクトーンのレジストを同じ傾向の音色にセットします。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して伴奏つきで弾きます。

試験官

3) 次に試験官が伴奏つきで前半を弾きます。アインザッツ※に続いて前半のメロディーを聴奏してください。  
 (その際、試験官は伴奏のみ弾きます。) ※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

Moderato

受験者

試験官

ハイ

4) 続いて試験官が後半を弾きますので、同様に聴奏してください。

受験者

試験官

ハイ

# ハーモニー聴奏

## 【課題例】

〔両手伴奏〕

## 【試験実施方法】

- 1) 試験官が〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か申込書をもとに確認をとります。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、通して弾きます。
- 3) アインザッツに続いてそれを聴奏してください。

※状況に応じ区切って提示されます。

〔ベースと左手〕

【試験実施方法】

- 1) 試験官が〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か申込書をもとに確認をとります。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、通して弾きます。
- 3) アインザッツに続いてそれを聴奏してください。

※状況に応じ区切って提示されます。

8級

メロディー聴奏

【課題例】

Moderato

## 【試験実施方法】

- 1) 試験官が、試験官用・受験者用エレクトーンのレジストを同じ傾向の音色にセットします。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して伴奏つきで弾きます。

Moderato

試験官

- 3) 次に試験官が2小節または4小節程度に区切って弾きます。アインザッツ※に続いてメロディーを聴奏してください。(その際、試験官は伴奏のみ弾きます。) ※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

Moderato

受験者

試験官

System 1 of the musical score. It consists of three staves. The top staff is a single treble clef staff with a key signature of one sharp (F#) and a common time signature. It contains a melodic line starting with a whole rest, followed by a half note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, a quarter note C5, a quarter note D5, and a quarter note E5. The middle staff is a grand staff (treble and bass clefs) with a key signature of one sharp. The treble clef part has a melodic line starting with a whole rest, followed by a half note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, a quarter note C5, and a quarter note D5, all under a slur. The word "ハイ" is written above the slur. The bass clef part has a bass line starting with a whole rest, followed by a half note G2, a quarter note A2, a quarter note B2, a quarter note C3, a quarter note D3, and a quarter note E3. The bottom staff is a single bass clef staff with a key signature of one sharp, containing a bass line starting with a whole rest, followed by a half note G2, a quarter note A2, a quarter note B2, a quarter note C3, a quarter note D3, and a quarter note E3.

System 2 of the musical score. It consists of three staves. The top staff is a single treble clef staff with a key signature of one sharp (F#) and a common time signature. It contains a melodic line starting with a whole rest, followed by a half note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, a quarter note C5, a quarter note D5, and a quarter note E5. The middle staff is a grand staff (treble and bass clefs) with a key signature of one sharp. The treble clef part has a melodic line starting with a whole rest, followed by a half note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, a quarter note C5, and a quarter note D5, all under a slur. The word "ハイ" is written above the slur. The bass clef part has a bass line starting with a whole rest, followed by a half note G2, a quarter note A2, a quarter note B2, a quarter note C3, a quarter note D3, and a quarter note E3. The bottom staff is a single bass clef staff with a key signature of one sharp, containing a bass line starting with a whole rest, followed by a half note G2, a quarter note A2, a quarter note B2, a quarter note C3, a quarter note D3, and a quarter note E3.

System 3 of the musical score. It consists of three staves. The top staff is a single treble clef staff with a key signature of one sharp (F#) and a common time signature. It contains a melodic line starting with a whole rest, followed by a half note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, a quarter note C5, a quarter note D5, and a quarter note E5. The middle staff is a grand staff (treble and bass clefs) with a key signature of one sharp. The treble clef part has a melodic line starting with a whole rest, followed by a half note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, a quarter note C5, and a quarter note D5, all under a slur. The word "ハイ" is written above the slur. The bass clef part has a bass line starting with a whole rest, followed by a half note G2, a quarter note A2, a quarter note B2, a quarter note C3, a quarter note D3, and a quarter note E3. The bottom staff is a single bass clef staff with a key signature of one sharp, containing a bass line starting with a whole rest, followed by a half note G2, a quarter note A2, a quarter note B2, a quarter note C3, a quarter note D3, and a quarter note E3.

## ハーモニー聴奏

### 【課題例】

〔ベースと左手〕

### 【試験実施方法】

- 1) 8級のハーモニー聴奏は基本的には〔ベースと左手〕ですが、申込書をもとに〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か確認をとります。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、通して弾きます。
- 3) アインザッツに続いてそれを聴奏してください。

※状況に応じ区切って提示されます。

## 聴奏 7・6級 (Bコースのみ)

### 【各級における出題範囲】

P. 8 をご確認ください。

### 7級

#### 【課題例】

Moderato

#### 【試験実施方法】

- 1) 試験官が、試験官用・受験者用エレクトーンのレジストを同じ傾向の音色にセットします。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して弾きます。

Moderato

3) 次に試験官が2小節または4小節程度に区切って弾きます。アインザッツ※に続いて曲全体(両手・ベースとも)を聴奏してください。 ※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

**Moderato**

受験者

試験官

The first system of the musical score consists of four staves. The top two staves are a grand staff (treble and bass clefs) with a key signature of three sharps (F#, C#, G#). The bottom two staves are two bass clefs. In measures 1 and 2, all staves contain whole rests. In measure 3, the top treble staff has a melodic line of quarter notes: F#4, G#4, A4, B4, with a slur over them. The bottom two bass staves have whole rests. In measure 4, the top treble staff has a half note G#4, with a slur extending from the previous measure. The bottom two bass staves have whole rests. The Japanese text "ハイ" is written above the treble staff in measure 4.

The second system of the musical score consists of four staves. The top two staves are a grand staff (treble and bass clefs) with a key signature of three sharps (F#, C#, G#). The bottom two staves are two bass clefs. In measure 5, the top treble staff has a melodic line of quarter notes: F#4, G#4, A4, B4, with a slur over them. The bottom two bass staves have whole rests. In measure 6, the top treble staff has a half note G#4, with a slur extending from the previous measure. The bottom two bass staves have whole rests. In measure 7, the top treble staff has a dotted quarter note G#4. The bottom two bass staves have a quarter note G#3. In measure 8, the top treble staff has a quarter note G#4. The bottom two bass staves have a quarter note G#3. The Japanese text "ハイ" is written above the treble staff in measure 7. The system concludes with a double bar line.

## 6級

## 【課題例】

Allegretto

The musical score is written for a single instrument, likely a piano, and is in G major (one sharp) and 3/4 time. The tempo is marked "Allegretto". The score is divided into two systems, each with three staves. The first system shows the beginning of the piece, with a treble clef and a bass clef. The second system shows the continuation of the piece, ending with a double bar line. The music features a simple melody in the treble clef and a bass line in the bass clef. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is common time (C).

## 【試験実施方法】

- 1) 試験官が、試験官用・受験者用エレクトーンのレジストを同じ傾向の音色にセットします。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して伴奏つきで弾きます。

Allegretto

- 3) 次に試験官が伴奏つきで2小節または4小節程度に区切って弾きます。アインザッツ※に続いて曲全体(両手・ベースとも)を聴奏してください。 ※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

Allegretto

受験者

試験官

The image displays two systems of musical notation for piano. Each system consists of a grand staff (treble and bass clefs) and a separate bass clef staff below. The music is written in D major (two sharps) and 4/4 time. The first system shows a melodic line in the treble clef and a bass line in the bass clef. The second system features a melodic line in the treble clef with a 'ハイ' (high) marking above a note, and a bass line in the bass clef.

## V 結果通知について

ヤマハ音楽振興会認定の試験官2名が審査を行い、受験者ご自身の学習範囲に対する到達度（音楽力）について以下の内容をお知らせします。

### ①各項目の到達度

試験の各項目における、学習範囲に対する到達度（身についた音楽力）について点数（10点満点）で表記されます。※5点が合格ライン、7点は「標準」、10点は「学習範囲の力がとてもよく身についている」という意味合いとなります。

### ②総合的な到達度

各項目の到達度（①）の合計点により、受験級が求める学習範囲に対する総合的な到達度（音楽力）が決定されます。

S～Eの6段階で表記されます。

合格	S	合計点が49～50点	受験級の学習範囲を大幅に上回る力がついています。
	A	合計点が41～48点	受験級の学習範囲の力は十分ついています。
	B	合計点が33～40点	受験級の学習範囲の力はついています。さらに確実な力をつけましょう。
	C	合計点が25～32点	受験級の学習範囲の力はほぼついています。バランスよく力をつけましょう。
不合格	D	合計点が17～24点	受験級の学習範囲まであと一息です。しっかり力をつけましょう。
	E	合計点が16点以下	受験級の学習範囲に達していません。もう一度学習しなおしましょう。

### ③今後の学習へのアドバイス

「日々のレッスンで学び、身につけている音楽力」と「音楽学習を続ける上で、より音楽力を高めるためのアドバイス」の両方が記載されます。

## VI 合否について

- ・総合的な到達度S～C（合計点が25点以上）を得た場合が、合格となります。
- ・合計点が25点以上であっても、各項目において2点もしくは1点が一つでもついていた場合は不合格となります。

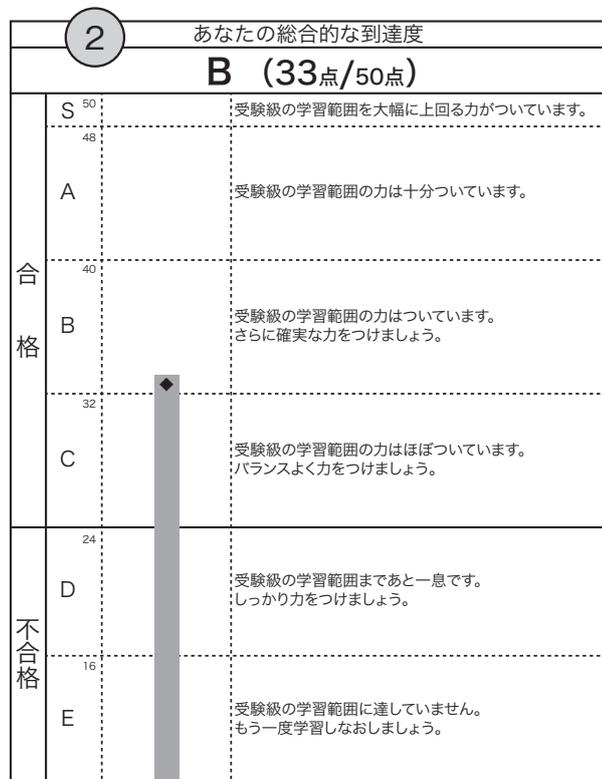
<結果通知のイメージ>

～ エレクトーン演奏グレード9級 B コース ～

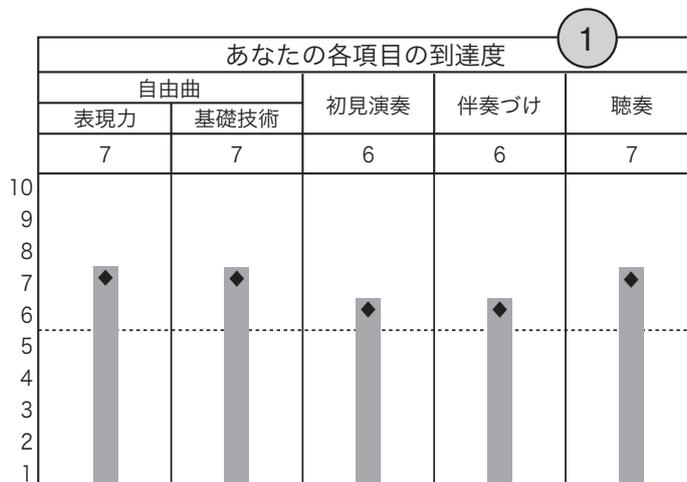
2025年11月1日

山葉 花子様

アドバイスをよく読み、これからも次の目標に向けがんばりましょう！



※合計点が25点以上でも「1～2点」が1項目以上ついた場合は不合格となります。



☆☆今後の学習へのアドバイス☆☆

自由曲は、曲想を感じ、表現しようとしています。  
聴奏は、左手（ベース）の高さに注意して再現できています。  
初見演奏は、一つひとつの音を読むのではなく、流れで読む練習を積み重ねましょう。  
伴奏づけは、色々な伴奏形を覚え、余裕をもって演奏できるよう練習しましょう。  
すべての項目で安定した力がつけられるようがんばりましょう。

※結果通知は試験実施後1ヶ月程度でヤマハ音楽振興会から、受験された会場あるいは担当の先生を通してお届けします。

## 参考資料 スケールとカデンツ(Bコース 10級～8級の出題範囲)

ピアノ・エレクトーンBコース10級～8級の出題範囲である調の主なスケールとカデンツです。初見演奏・伴奏づけ・聴奏を勉強する際に、参考にしてください。

※ 尚、掲載されているスケールのオクターブ数やカデンツの和音の形については、ヤマハ音楽教室で使用している教材「ジュニア」の内容に準拠しています。

### Bコース 10級

#### <八長調>

Musical notation for the 10th grade scale in C major, 8-measure scale. The notation is in treble and bass clefs with a common time signature. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes.

(両手伴奏)

Musical notation for the 10th grade scale accompaniment (both hands). The notation is in treble and bass clefs with a common time signature. The right hand plays chords with fingerings 5, 3, 1. The left hand plays single notes with a fingering of 5 (1).

(ベースと左手)

Musical notation for the 10th grade scale accompaniment (bass and left hand). The notation is in bass clefs with a common time signature. The left hand plays chords with fingerings 5, 3, 1. The right hand (bass) plays single notes with a fingering of 5 (1).

Musical notation for the 10th grade scale accompaniment (both hands). The notation is in treble and bass clefs with a common time signature. The right hand plays chords with fingerings 5, 3, 1. The left hand plays single notes with a fingering of 5 (1).

Musical notation for the 10th grade scale accompaniment (bass and left hand). The notation is in bass clefs with a common time signature. The left hand plays chords with fingerings 5, 3, 1. The right hand (bass) plays single notes with a fingering of 5 (1).

<ト長調>

<ヘ長調>

<イ短調>

【和声的短音階】

【旋律的短音階】

# Bコース 9級

## <八長調>

1 2 3 1 2 3 4 1 3 1 5 1 3 1 4 1 3 1

5 4 3 2 1 3 2 1 4 3 1 3 1 4 1 3 1 5

5 1 1

5 (1)

5 1 1

5 1 1

5 (1)

5 1 1

5 1 1

5 (1)

5 1 1

<ト長調>

The first system of the score consists of two staves. The upper staff is in G major (one sharp) and the lower staff is in C major (no sharps or flats). Both are in common time (C). The piece begins with a treble clef in the upper staff and a bass clef in the lower staff. The melody in the upper staff is: G4 (1), A4 (2), B4 (3), A4 (1), G4 (2), F4 (3), E4 (4), D4 (1), C4 (2), B3 (3), A3 (4), G3 (1), F3 (3), E3 (5), D3 (1), C3 (3), B2 (4), A2 (1), G2 (3), F2 (1), E2 (3), D2 (4), C2 (1). The bass line in the lower staff is: G3 (5), F3 (4), E3 (3), D3 (2), C3 (1), B2 (3), A2 (2), G2 (1), F2 (4), E2 (3), D2 (1), C2 (3), B1 (1), A1 (3), G1 (4), F1 (1), E1 (3), D1 (4), C1 (5). Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. The system ends with a repeat sign and a final double bar line.

The first exercise for the left hand is in G major. It consists of four measures. The first measure has a treble clef and a bass clef, with a 5 (1) fingering below the G3 note. The subsequent three measures have a bass clef and a (3) fingering below the notes. The notes are: G3, A3, B3, A3, G3, F3, E3, D3, C3, B2, A2, G2, F2, E2, D2, C2, B1, A1, G1, F1, E1, D1, C1, B0.

The first exercise for the right hand is in G major. It consists of four measures. The first measure has a treble clef and a bass clef, with a 5 (1) fingering above the G4 note. The subsequent three measures have a treble clef and a (3) fingering above the notes. The notes are: G4, A4, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4, B3, A3, G3, F3, E3, D3, C3, B2, A2, G2, F2, E2, D2, C2, B1, A1, G1, F1, E1, D1, C1, B0.

The second exercise for the left hand is in G major. It consists of four measures. The first measure has a treble clef and a bass clef, with a 5 (1) fingering below the G3 note. The subsequent three measures have a bass clef and a (3) fingering below the notes. The notes are: G3, A3, B3, A3, G3, F3, E3, D3, C3, B2, A2, G2, F2, E2, D2, C2, B1, A1, G1, F1, E1, D1, C1, B0.

The second exercise for the right hand is in G major. It consists of four measures. The first measure has a treble clef and a bass clef, with a 5 (1) fingering above the G4 note. The subsequent three measures have a treble clef and a (3) fingering above the notes. The notes are: G4, A4, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4, B3, A3, G3, F3, E3, D3, C3, B2, A2, G2, F2, E2, D2, C2, B1, A1, G1, F1, E1, D1, C1, B0.

The third exercise for the left hand is in G major. It consists of four measures. The first measure has a treble clef and a bass clef, with a 5 (1) fingering below the G3 note. The subsequent three measures have a bass clef and a (3) fingering below the notes. The notes are: G3, A3, B3, A3, G3, F3, E3, D3, C3, B2, A2, G2, F2, E2, D2, C2, B1, A1, G1, F1, E1, D1, C1, B0.

The third exercise for the right hand is in G major. It consists of four measures. The first measure has a treble clef and a bass clef, with a 5 (1) fingering above the G4 note. The subsequent three measures have a treble clef and a (3) fingering above the notes. The notes are: G4, A4, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4, B3, A3, G3, F3, E3, D3, C3, B2, A2, G2, F2, E2, D2, C2, B1, A1, G1, F1, E1, D1, C1, B0.

< 長調 >

1 2 3 4 1 2 3 1 3 4 1 4 1 4 1 3 1 4 1

5 4 3 2 1 3 2 1 4 1 3 1 3 1 4 1 3 1 4 1

5 (1) (Φ)

5 (1) (Φ) (Φ)

5 (1) (Φ) (Φ)

# <イ短調>

## 【和声的短音階】

## 【旋律的短音階】

<二短調>

【和声的短音階】

【旋律的短音階】

# Bコース 8級

## <八長調>

※ 8級で出題される両手伴奏のポジションは、右手の開始和音が第5音高位または根音高位の2種類です。

(第5音高位)

(根音高位)



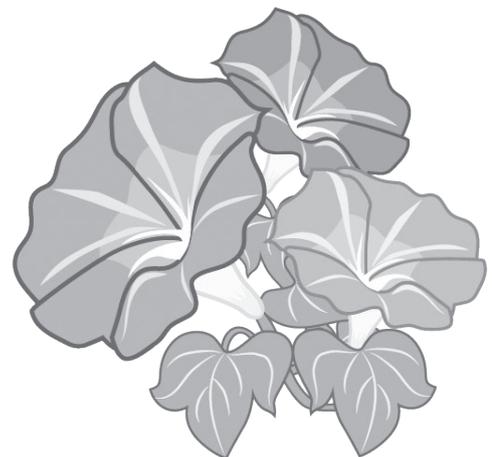
<ト長調>

Musical notation for the first system, featuring a treble and bass clef. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is common time (C). The piece consists of 8 measures. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. A repeat sign is present at the end of the system.

Musical notation for the second system, showing a bass clef. The right hand plays chords in the first four measures, while the left hand plays a simple bass line with notes in parentheses. The system ends with a double bar line.

Musical notation for the third system, showing a grand staff. The right hand plays chords in the first four measures, while the left hand plays a simple bass line with notes in parentheses. The system is enclosed in large parentheses and ends with a double bar line.

Musical notation for the fourth system, showing a grand staff. The right hand plays chords in the first four measures, while the left hand plays a simple bass line with notes in parentheses. The system ends with a double bar line.



< 長調 >

Musical score for the first system, featuring a treble and bass staff. The treble staff has fingerings: 1 2 3 4 1 2 3, 1 3 4 1, 4, 1 4, 1 3 1 4, 1. The bass staff has fingerings: 5 4 3 2 1 3 2, 1 4, 1 3, 1, 3 1, 1 3 1, 4, 5. A repeat sign is present at the end of the system.

Musical score for the second system, featuring a bass staff with chords and a treble staff with notes. The bass staff has chords: C4, F4, C4, F4, C4. The treble staff has notes: G4, A4, B4, C5.

Musical score for the second system, featuring a grand staff with chords and notes. The bass staff has chords: C4, F4, C4, F4, C4. The treble staff has notes: G4, A4, B4, C5.

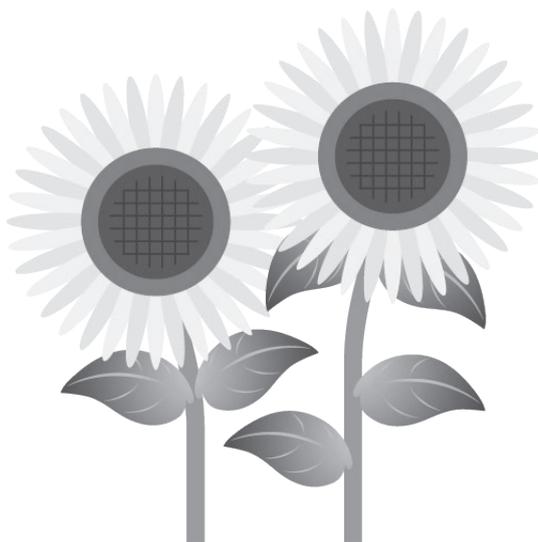
Musical score for the third system, featuring a treble and bass staff. The treble staff has chords: C5, B4, A4, G4. The bass staff has notes: C4, F4, C4, F4, C4.

Musical score for the third system, featuring a grand staff with chords and notes. The bass staff has chords: C4, F4, C4, F4, C4. The treble staff has notes: G4, A4, B4, C5.

# <イ短調>

## 【和声的短音階】

## 【旋律的短音階】



<二短調>

【和声的短音階】

Musical score for harmonic short scale in B-flat minor. The score is written in treble and bass clefs with a common time signature. The melody in the treble clef consists of the notes: B-flat, C, D, E-flat, F, G, A-flat, B-flat. The bass line consists of: B-flat, A-flat, G, F, E-flat, D, C, B-flat. Fingerings are indicated by numbers 1-5. The piece concludes with a double bar line and a final B-flat note.

【旋律的短音階】

Musical score for melodic short scale in B-flat minor. The score is written in treble and bass clefs with a common time signature. The melody in the treble clef consists of the notes: B-flat, C, D, E-flat, F, G, A-flat, B-flat. The bass line consists of: B-flat, A-flat, G, F, E-flat, D, C, B-flat. Fingerings are indicated by numbers 1-5. The piece concludes with a double bar line and a final B-flat note.

Musical score for harmonic accompaniment in B-flat minor. The score is written in treble and bass clefs with a common time signature. The treble clef contains chords: B-flat major (B-flat, D, F), C minor (C, E-flat, G), D minor (D, F, A-flat), and E-flat major (E-flat, G, B-flat). The bass clef contains single notes: B-flat, A-flat, G, F, E-flat, D, C, B-flat. The piece concludes with a double bar line.

Musical score for melodic accompaniment in B-flat minor. The score is written in treble and bass clefs with a common time signature. The treble clef contains chords: B-flat major (B-flat, D, F), C minor (C, E-flat, G), D minor (D, F, A-flat), and E-flat major (E-flat, G, B-flat). The bass clef contains single notes: B-flat, A-flat, G, F, E-flat, D, C, B-flat. The piece concludes with a double bar line.



ヤマハ音楽振興会 〒153-8666 東京都目黒区下目黒 3-24-22  
グレード事務局

■お問い合わせ先

こちらのお問い合わせフォームをご利用ください。  
[https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=508&lcl=ja\\_JP](https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=508&lcl=ja_JP)



本要項の全部または一部を権利者に無断で複製（コピー）することは、著作権の侵害にあたり、著作権法により罰せられます。  
個人的な範囲を超える使用目的での複製はなさないようお願いいたします。

©2025 by Yamaha Music Foundation  
2025年8月作成